

心ゆたかに



小中一貫教育目標「自分らしくともに かがやく」 重点目標「自分のコトバを とどけよう」

【空はとても大きなわくわく絵本 視線を上げて グラデーションを感じて】

わたしが雲が浮かぶ空や色づく木々を、色彩のグラデーションが包み込んでいます。分断が進む世界情勢の中、グラデーションには線が引けないということを、そして、色と色の重なり豊かなさを改めて感じます。

雲の形から、子どもたちは生き物や食べ物など、自由に想像を広げ、わくわくの物語を創っています。空は、大きなわくわく絵本。図書室の本と共に、たくさんの物語を愉しんでほしいです。

富士見台小で、「グローバルウィーク」が始まりました。外国籍の子どもたちが、昼の放送でそれぞれの国の様子、言葉や食べ物、行事などを紹介しています。全校児童は、ポスターの色塗りや言葉を書くプリントに挑戦。本校には、「日本語教室」「ことばの教室」「国際教室」といった多様性に富んだ空間が用意されています。いろいろな人が一緒に生活しているという**多様性の大切さ**を学ぶ場を、これからもつづけていきます。お互いを思いやり、尊重し合って、「自分らしくともに かがやく」ように。



くすのき学級のわくわくの種

【サポーターさんとの触れ合いで生まれるもの】

今年は授業の中で、サポーターさんと交流する場を積極的に設けています。質問コーナーでは、「どうしてそんなに頑張れるのですか？」という素朴な疑問が子どもから投げかけられました。子どもたちとの触れ合いが楽しいことや、学校のためと思うと頑張れる、などといったありがたいお言葉をいただきました。6年生は、サポーターさんが輝いている秘密を探ろうと、各チームの活動を一緒に体験しました。そこには、笑顔がたくさんありました。コロナ対応で多くの制限をせざるを得なかった3年間を経た今、改めて、いろいろな方々との**触れ合いの大切さ**を感じます。



【未来は自分たちがつくる 3校スポーツ大会 3校こどもサミット】

6年生が、神戸小学校、吉永第二小学校の6年生とすてきな交流をしました。前半は、運動場で綱引きや玉入れ、大縄跳びのスポーツ大会。後半は、卒業に向けて6年生として何ができるかについての**話し合い**をしました。3校の6年生から積極的な意見が出され、とても頼もしく感じました。また、子どもの意見表明の場として、富士市こども未来課の職員、子どもの権利救済委員さんにも参観していただきました。



多様性の大切さ、触れ合いの大切さ、そして話し合うことの大切さを子どもたちは体感しています。

相手を尊重し、多様な価値観を出し合う対話によって、社会を創っていく民主主義の教育を進めます。

校長 四條 秀樹